

## はじめに

自殺対策基本法の制定から10年がたち、我が国の年間自殺者数は平成10年以降の高止まり状態から、近年は減少傾向に転じつつある。

この間、自殺総合対策大綱の作成と見直しが行われ、同大綱に基づき、国・地方公共団体・民間団体等が連携しつつ自殺対策が行われてきた。また、平成28年3月には自殺対策

基本法そのものが改正され、4月1日より施行されるなど、我が国における自殺対策は、大きな転換期を迎えている。

本章では、この10年間における国、地方公共団体、民間団体等を挙げた自殺対策の取組を振り返るとともに、この間の自殺の状況の推移や変化について分析を行うことを通じて、今後の自殺対策の課題を探る。